

消防団長紹介



豊中市消防団 団長 田中 照浩

豊中市は大阪の北部に位置し、管内には関西地区の空の玄関として役割を担う「大阪国際空港」をはじめ、鉄道や高速道路が縦横に走り、都市交通網が発達していることが特色として挙げられます。また、大阪都市圏のなかでも、早くから郊外住宅地として発展、約40万人の人口を擁し、快適な住宅都市、質の高い教育文化都市として着実な歩みを重ね、平成24年4月1日には中核市へ移行しました。

豊中市消防団は、郷土愛護と奉仕の精神のもと、「地域の安全は自分たちで守る」を合言葉に集まった団員で構成されており、それぞれが仕事をもちながら、地域を守る様々な消防防災活動を行っています。市内には14分団が配置され、火災などの災害に対応するとともに、火災予防や応急手当の普及啓発に努めています。

私は、昭和58年10月に入団以来、班長、部長、副分団長を務め、平成18年4月からは分団長、平成20年4月からは副団長を歴任し、平成26年4月に団長に任命されました。また、平成27年4月からは豊能地区支部長、令和元年6月からは大阪府消防協会 常務理事、令和4年3月からは副会長、令和5年6月からは会長に就任しています。

趣味は野球観戦です。

消防団活動で記憶に残っている出来事としては、平成22年に愛知県蒲郡市で開催された第22回全国消防操法大会に大阪府代表として出場した事です。

大地震や、台風・豪雨による大規模な風水害が頻発している昨今、消防団の災害対応力に対する地域住民の期待が、強くなってきているように感じています。

その負託に応えるため、豊中市消防団は、訓練やパトロール、広報活動等に日夜励んでいます。

特に、消防ポンプ車の操法技術の向上に力を入れており、消防団本部はもとより、各分団が安全・確実・迅速な操法を目指し、令和6年に開催される全国大会出場に向け、消防団が一丸となって取り組んでいます。